

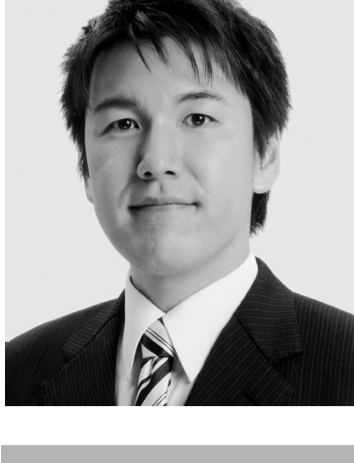
# ひとりひとりを大切に作る千葉市政を!

## 議会報告

千葉市議会議員

# 亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2016年秋の便り号 (通算第30号)  
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173  
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108  
ホームページは「亀井たくま」で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.com



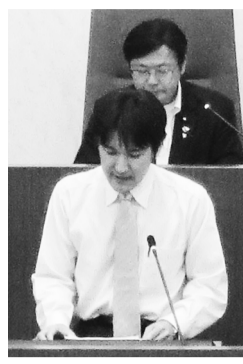
## 6月議会報告! 犬・猫殺処分についてゼロを達成! 平和・人権・福祉・文化の推進、千葉駅周辺の活性化を!

皆様、お元気でいらっしゃいますか! おかげさまでもちまして、亀井たくまの議会活動も2期5年目に入りました。6月定例議会では、連続21回目の一般質問に登壇しました。以下、概要をお知らせいたします。(詳細は市議会ホームページにて録画中継をご覧ください)

6月議会ではこの1年の議会における役職改選も行われました。これまで長らく、保健消防委員会(27年度は副委員長)に所属してまいりましたが、今年度は都市建設委員会に所属し、副委員長を拝命いたしました。今後もさまざまな課題に果敢に挑戦してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 平和・人権施策について

- Q 戦後71年。戦争記憶の風化防止を。記録の保存や戦跡の保全などさらなる取り組みを。  
A (市民局長) 「千葉空襲写真パネル展」を毎年開催し、「平和啓発パンフレット」を配布している。展示内容を工夫し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて、理解が深まるように取り組んでいる。また、「戦跡めぐりウォーキング」「平和アニメの上映会」「千葉空襲体験者の講話会」などを行い、市民から寄贈を受けた戦災遺品の活用にも取り組んでいるが、今後、千葉公園に残る戦跡保全を含め、平和啓発のための活用を検討していく。
- Q 全国で問題となっているヘイトスピーチ(人種差別)を許さない取り組みを。  
A (市民局長) 国もヘイトスピーチ解消法を制定しており、法務局や関係機関と連携を取りながら、不当な差別的言動の解消に向け、相談体制の整備、教育、啓発などに加え、ヘイトスピーチの解消につながるような方策を検討していく。
- Q DV防止の推進を。女性被害者・子どもの安全確保、心のケアの充実。男性被害者への支援は。DVの理解・相談窓口の啓発強化は。  
A (子ども未来局長) 一時保護が必要な母子の安全確保とともに、個人情報の管理など避難後の安全確保にも努めている。配偶者暴力相談支援センターや児童相談所と連携し、「心理教育プログラム」など母子ともに心のケアを実施している。男性の相談も専門の電話相談など支援を整備している。DV相談窓口の周知徹底をはかるとともに学生や若者向けのデートDVなどの理解促進に取り組んでいく。
- Q 性暴力(性犯罪)被害者への支援を。  
A (市民局長) 被害者支援を行う「千葉性暴力被害支援センター・ちさと」(国立千葉医療センター内に設置)に補助を行っている。市民への周知を図り、緊急対応や精神的ケアを必要とする被害者の支援に努めていく。
- Q いじめ問題が心配だ。中学生の生徒手帳にいじめ・悩み相談の各種相談先を掲載してはどうか。  
A (教育次長) 市では、いじめ相談等の相談先を記載した啓発カードを全児童生徒に配布している。生徒手帳の活用については、今後、取り組みを紹介してまいりたい。
- Q 今後も人権施策の推進を。市に「人権課」を設置してはどうか。  
A (市民局長) 多様な人権問題に加え、ヘイトスピーチや性的マイノリティ、人種、宗教などの新たな人権課



題を踏まえ、男女共同参画課を中心に人権擁護委員などと連携し、今後も市民に広く人権啓発を行っていく。

### 亀井はこう考える! 人権は命の基本! 今後もこだわっていきます!

多岐にわたる人権課題について質問・提言を行いました。さまざまな問題で心を痛めている方がいることを忘れてはならず、「暴力や人権侵害を絶対に許さない」という姿勢・取り組みが必要です。このほか、「性的マイノリティ(LGBT)施策」「男女共同参画推進」についても質問・提言を行いました。さまざまな人権の課題は、子どもや若い人たちの啓発こそが大切と考えます。多くの人権課題において、「ひとりひとりが大切にされる千葉市」となるように、今後も発言してまいります。

### こころの健康・障がいのある方々への支援について

- Q 自殺予防対策を。自殺未遂をされた方への支援は。家族への支援、自殺を防ぐゲートキーパーの養成は。  
A (保健福祉局長) 「こころと命の相談室」を設置し、相談・支援にあたっている。昨年度、本市では自殺未遂で307人が救急搬送された。今年度から自殺未遂の方や家族に相談窓口を記載したリーフレットを作成・配布していく。ゲートキーパーはこれまで約1100名を養成しており、今後も取り組んでいく。
- Q 精神障がいの方々への早期支援のアウトリーチの取り組みを。また、家族への支援、夜間の支援は。  
A (保健福祉局長) 医療機関への受診につながるように、関係機関が連携し、訪問・相談活動を実施している。こころの健康センターや区健康課における「精神保健福祉相談」を行うとともに、県との共同事業において24時間体制で当事者の方・家族からの緊急的な相談にも応じている。
- Q 障がいのある方への就労支援を。現在、市役所内に「チャレンジドオフィスちばし」を設置し、精神や知的障がいの方の就労支援に取り組んでいるが、効果は。精神障がいのある方の「法定雇用化」への対応は。  
A (保健福祉局長) 平成25年の開設以降、精神障がいの方6名、知的障がいの方5名を雇用している。民間企業への就労を目指して働いており、これまで知的障がいのある方2名が民間企業に就労している。これまでの取り組みを踏まえて、精神障がいのある方の雇用のあり方を研究していく。
- Q 精神障がいのある方への就労促進を。雇用促進に向けて市内企業への支援は。  
A (保健福祉局長) 「職業能力開発プロモート事業」や「職場実習事業」に取り組み、当事者や企業からの相談対応・橋渡しを行い、企業における障がいのある方への理解促進、精神障がいがある方の仕事の不安・悩みを解決し、働き続けられるよう支援を行っていく。
- Q 精神障がいの方の社会参加・地域移行への取り組みを。  
A (保健福祉局長) 毎年、社会参加・地域交流のためのイベントを7事業開催している。今年度からは、地域移行を推進するため、「退院支援プログラム」を精神科病院や相談支援事業所と連携し取り組んでいく。



### 亀井はこう考える! ひとりひとりの立場に寄り添う支援を!

今回は「こころの健康」に始まり、ひきこもりの方々、精神障がいの方々への支援を中心に質問・提言を行いました。ふとしたことから、気分が落ち込んだり、「こころの健康」を失ってしまうことは誰にでも起こりうることです。「こころの健康」を失ってしまうことは、ひきこもりや自ら命を絶ってしまうことにつながるおそれがあり、早期の相談・支援が必要です。(→相談窓口は4面へ)

ストレス社会と呼ばれる社会情勢を反映してか、うつ病などの気分障がい、統合失調症など、精神に障がいのある方も増加(約320万人)しており、本人や家族への早期支援・アウトリーチの取り組みが求められています。また、就労支援、社会復帰、社会参加のためには、企業や地域社会の理解促進が必要です。お互いに理解し合い、支え合う共生の社会づくりが今後も求められています。

### 文化芸術施策について

- Q 子どもたちが文化や芸術に触れる機会の充実を。  
A (市民局長) 市美術館で鑑賞する「鑑賞教育推進事業」を実施し、27年度は45校で約2000名の参加があった。中学校では「音楽芸術体験教室」、小学校では「こころの劇場」(演劇鑑賞)を開催し、情操教育を推進している。今年度は、参加体験型の企画や、若者文化芸術活動を支援する事業など拡充をはかっていく。
- Q 「千葉らしい文化・芸術」の確立を。「加曾利貝塚」や「千葉氏」のような歴史的資源の活用を。  
A (総合政策局長) 「加曾利貝塚」「千葉氏」に関する企画や講座を実施し、市民の認知度向上を図り、価値や魅力の充実をはかっていく。今後、市として車いすスポーツに力を入れていることから、「車いすアート

プロジェクト」を開催していく。本市ゆかりのアーティストが活躍できる機会の創出に今後も取り組む。

### 亀井はこう考える! 子どもたちに豊かな芸術文化体験の場を!

子どもたちがさまざまな機会を通じて、文化芸術活動に触れることは一生の財産になります。私も小学生の時に先生の勧めがあって吹奏楽部に入部し、音楽に接する機会を得てから、人生の幅が豊かになった気がしています。吹奏楽や合唱などはじめ、文化系の活動(部活動)の充実が大切だと思います。千葉の歴史・魅力にちなんで「動物愛護教室文化・芸術」の創造・発展も期待したいところです。

### 動物愛護について

- Q 平成27年度の犬猫の殺処分数は。  
A (保健福祉局長) 犬・猫ともに殺処分数は0となった。
- Q 収容された動物の譲渡促進のさらなる取り組みを。  
A (保健福祉局長) ボランティアグループと協働し、「猫の譲渡会」を今後も取り組んでいく。ホームページは、収容された動物の写真が容易に閲覧できるように改善するとともに、ツイッターによる情報発信を今後も行っていく。
- Q 地域猫への理解がとれないため、野良猫が増えている現状がある。地域猫活動への理解促進を。  
A (保健福祉局長) 平成23年度から地域猫セミナーを開催し、自治会への出前講座も行っている。25年度からは中学1年生全員への周知活動を行っている。今年度は環境省と連携し、適正飼養の啓発チラシを作成し、自治会等への周知をさらに行っていく。
- Q 「野良猫の不妊手術事業」は不幸な野良猫を減らすために効果がある。今後も事業の継続・拡充を。  
A (保健福祉局長) 平成23年の事業開始以来、野良猫の数は減少しており、事業検証を行い、今後も取り組む。
- Q 殺処分ゼロを達成したことを評価する。ボランティアグループ等の意見も踏まえ、さらなる取り組みを。  
A (保健福祉局長) ボランティアグループの意見を踏まえ、今後も改善に努めていく。今年度は市内小学校において「動物介在教育」を含む「動物愛護教室」を開催する。今後も野良猫の引き取り数を減らすため、ボランティアと連携し、地域猫対策に積極的に取り組んでまいりたい。

	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年
センターでの死亡数	272	161	62	38	24	20	4	3	1
うち、殺処分数	不明	不明	不明	27	15	11	1	1	0
センターでの死亡数	1111	1027	757	560	304	349	236	57	68
うち、殺処分数	不明	不明	不明	258	92	127	143	1	0

### 亀井はこう考える! 多くの御協力で殺処分ゼロ達成! さらに施策充実を!

犬猫殺処分ゼロは、動物愛護に取り組むボランティア、行政、市民の皆様のご理解・ご協力の賜物です。しかし、放っておけば、また野良猫はすぐに増え、地域には不幸な野良猫があふれてしまいます。今後も継続的な取り組みが重要です。野良猫の保護など、献身的な活動をしているボランティアの方々の活動をサポートし、行政とより良い協働が実現できるよう、質問・提言を行いました。「ふるさと納税制度」の活用とボランティアとの協働や地域猫活動への御理解のほど、よろしく願い申し上げます!

### 千葉駅周辺のまちづくりについて

- Q JR千葉駅の建て替え工事、弁天町の「北部階段」、「モノレール連絡通路」工事の進捗は。完成に合わせて、イベントの開催・賑わいづくりを。  
A (都市局長) 11月開業に向けて、工事は予定通り進んでいる。千葉駅は今後、平成29年夏にエキナカ、30年夏に駅ビルが全面開業する。今後、駅周辺が賑わうようなイベントを開催していく。
- Q 弁天町側に新設される「北部階段」付近で車の往来・停車の増加が予想される。交通安全対策など整備を。  
A (都市局長) 弁天町側の「北部階段」周辺は、完成後の利用状況を確認し、周辺整備を検討する。
- Q 今後の千葉駅周辺の再開発やまちづくりは。  
A (都市局長) 東口・西口の再開発事業を進めていく。東口の自転車駐輪場は地下駐輪場(新設)に再編する。

### 亀井はこう考える! 千葉駅リニューアルとともに活性化・利便向上を!

待ちに待った千葉駅リニューアルは11月20日に決定され、完成が間近です。駅は今後、エキナカ(駅の中に多くの商業施設ができます)の完成など、3段階で発展していきます。皆さん、お楽しみに!!

### 皆様の声の実現! ~あの質問・提案はどうなった?~ ⑥

#### 蘇我地区指定廃棄物問題、ついに国の指定が解除される!

これまでたびたび議会質問を行ってきた蘇我地区指定廃棄物問題は、放射線量の再測定の結果、基準の8000ベクレルを下回りましたから、7月23日、環境省が「指定」を解除しました。これで千葉市には「指定廃棄物」は事実上なくなりましたが、国は引き続き、蘇我地区に最終処分場建設の立場を崩しません。今後も処分場は白紙撤回(廃棄物は各自治体で保管)を求めていきます。

#### こころの問題でお悩みのときはまずは相談を!

- 「こころの電話相談」  
043-204-1583  
(千葉市こころの健康センター)
- 「こころといのちの相談室」  
043-216-3618  
(千葉市こころと命の相談室)
- 「ひきこもりの方・ご家族の電話相談」  
043-204-1606  
(千葉市ひきこもり地域支援センター)

※平日の日中にお電話をお願いします。

### 熊本地震の現地支援活動へ行ってきました!

4月26日~29日、熊本地震の支援のため、熊本市に入り、現地で支援活動に従事してきました。被災された方のお宅にて倒壊したブロック塀の撤去、室内の家具の撤去・整理などを全国からのボランティアの皆さんが行っていました。また、この間のボランティアの皆様からお預かりした義援金もお届けしてまいりました。現地の方から「千葉市の皆さんにありがとうと伝えてほしい」との感謝の言葉をたくさん頂戴しました。今後もみんなでの復興支援を!



(全国からのボランティアと。熊本市の高齢者施設にて)

TEL/FAX 043-255-8108 携帯電話 090-3694-4173

(事務員もおらず、1人で活動しておりますので、留守が多いです。携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします! お手紙も大歓迎です!)

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>  
メール DQG06110@nifty.com

フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています! 亀井たくま で検索を!

### 亀井たくまのプロフィール

1978年生まれ。椿森出身・在住。36歳。作草部幼稚園、都賀小、椿森中、市立千葉高、早稲田大学政経学部、同大学院公共経営研究科修了。行政書士。社会福祉士。椿森3丁目役員。千葉市スポーツ推進委員。院内小スポーツ振興会委員、椿森中青少年育成委員会委員。青少年相談員。ホームヘルパー2級。防災士。都市建設委員会副委員長。都市計画審議会委員。2007年の市議選は21票差で落選。2011年、初当選。2015年再選。日々修行中です!

趣味は明治~昭和の懐メロです。(介護施設、老人会、自治会等で懐メロの演奏・茶話会のボランティアができます! 詳しくはお電話ください!)好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎です。

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします!

ワンコインカーン(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。  
郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくま と 亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!